

さいたま市社会福祉事業団の概要



さいたま市社会福祉事業団
シンボルマーク

『あなたの笑顔、みんなのしあわせ』

さいたま市社会福祉事業団は、さいたま市が設置した福祉施設の経営を中心に、さいたま市からの委託事業及び独自の事業を行っています。

1 法人の名称・代表者・所在地

名称 社会福祉法人 さいたま市社会福祉事業団
代表者 理事長 荒井 康博
所在地 さいたま市大宮区土手町1丁目213番地1

2 設立年月日

平成13年8月1日
昭和50年7月9日 旧大宮市社会福祉事業団 設立
昭和58年3月1日 旧浦和市社会福祉事業団 設立
平成13年8月1日 3市合併に伴う新法人設立
平成15年4月1日 さいたま市社会福祉協議会から施設（旧与野市社協経営施設）移管
平成17年4月1日 旧岩槻市社協経営施設を受託（移管）

3 職員数（令和3年9月1日現在 臨時職員を含む。）

| | | | | |
|----|------|--------|------|---------|
| 合計 | 886名 | ・正規職員 | 316人 | (35.7%) |
| | | ・嘱託 | 119人 | (13.4%) |
| | | ・クラブ職員 | 155人 | (17.5%) |
| | | ・臨時職員 | 271人 | (30.6%) |
| | | ・人材派遣 | 25人 | (2.8%) |

4 事業規模（令和3年度収入予算）

59億1519万円（うち、さいたま市との運営委託契約額 32億2089万1千円）

5 主な事業内容

| | | | | | |
|-------|------------|----|--------|-----------------|----|
| 高齢者対象 | 介護老人保健施設 | 1 | 障害児者対象 | 障害者生活介護事業 | 7 |
| | ケアハウス | 1 | | 障害者就労移行支援事業 | 4 |
| | 老人福祉センター | 9 | | 障害者就労継続支援事業B型 | 5 |
| | 老人憩いの家 | 9 | | 障害者自立訓練事業(機能訓練) | 2 |
| | デイサービスセンター | 2 | | (生活訓練) | 2 |
| | 居宅介護支援事業 | 2 | | 障害者相談支援事業 | 14 |
| 児童対象 | 母子生活支援施設 | 1 | | 身体障害者福祉センター(B型) | 1 |
| | 児童センター | 18 | | 福祉型児童発達支援センター | 4 |
| | 放課後児童クラブ | 74 | | 医療型児童発達支援センター | 1 |
| | | | | 児童発達支援事業 | 1 |
| | | | | 放課後等デイサービス | 1 |
| | | | | 共同生活援助 | 1 |
| | | | | 生計困難者に対する相談支援事業 | 1 |
| | | | | 他 | |

107か所施設183事業（指定管理施設数 129）

さいたま市社会福祉事業団経営理念

私たちは、
だれもがその人らしい生活が送れ、
ともに支えあう、豊かな社会づくりに貢献します。

経営基本方針

◆ 経営基本方針

経営理念を実現するため、次のことを実践します。

- 1 人の尊厳を守り、「その人らしい生き方」を大切にします。
だれもが人として尊重され、その人らしい主体的な生活が送れるよう努めます。そして、地域の中で安心して暮らし続けられるよう支援します。
- 2 「共に支えあう社会づくり」を目指します。
地域と共に生きることを目指し、住民相互の交流を促進します。また、ネットワークを活用し、地域の福祉力の向上に貢献します。
- 3 期待されるサービスを追求します。
ニーズに沿ったサービスの提供に努めるとともに、地域のセーフティネットとしての機能を果たします。また、時代を捉えた新たなサービスの創造に努めます。
- 4 高い専門性と豊かな人間性を備えた人材を育てます。
専門的な知識・技術に加えて、高い倫理観、深い人間観を持った職員を育成します。また、福祉人材の育成を積極的に支援します。
- 5 社会的責任を果たすとともに、自立的経営基盤の確立を目指します。
社会規範・法令の遵守、経営の公開性・透明性の確保に努めます。また、経営の安定化・持続化を図るとともに、効果的・効率的な経営を促進し、自立性を高めます。